

5/15 伏木けんか山

伏木のけんか山です。夜はちょうど山になります。勇壮に山と山どうしをぶつけ合います。



11/26 法科大学
トップセミナー2010



9/23 福岡つくりもんまつり

300年以上続く奇祭です。



7/27 平成23年度の高岡市の重点事業に関する要望を国へ提出しました。

12/6 ドイツスポーツ大学
ケルン学生の表敬訪問



設立されている「高橋まさき後援会支部」をご紹介します。

下関支部
二塚支部
太田支部
中田支部
石堤支部
東五位支部

野村支部
戸出支部
牧野支部
佐野支部
川原支部
福田支部

立野支部
能町地区後援会
小勢支部
横田支部
木津支部
吉久支部

伏木支部
国吉支部
万葉支部
定塚支部
西条支部
成美支部

「高樹会」入会について（お願い）

高橋まさきの政治活動を積極的に支援するとともに会員相互の親睦等を図る目的も含んだ「高樹会」に新しく入会してくださる方を募集しています。

詳細は、高橋まさき事務所

TEL 0766-26-6035

FAX 0766-26-6008

までお問い合わせください。

2011年3月発行



高橋まさき ニュース

高橋まさき事務所
〒933-0912 高岡市丸の内1-40 高岡商工ビル7F
TEL 0766-26-6035 FAX 0766-26-6008

後援会newsメールアドレス
info@takahashi-masaki.com

ごあいさつ

高岡市長 高橋正樹



皆様には日頃から、高岡市政へのご支援、ご鞭撻、まことに有難うございます。市長就任以来、開町400年、合併5周年という節目を超えて、足かけ3年。市民の目線で考え、緊張感とスピード感を持って当たることをモットーに市民本位の市政運営を心がけて駆け抜けてまいりました。

市長として2回目の通年予算編成となった平成23年度予算は、総額704億円余の過去最高となりました。平成26年度開業へ向けて、ピークを迎えた新幹線関連投資的経費と少子高齢化社会を反映する福祉的予算とに対応するため、市税収入が落ち込むなか国庫支出金などの財源確保を図る一方で、全事業総点検プロジェクトの一環として実施した事務事業効果検証等によって行政改革を進め、財源捻出に努める文字通り「二兎を追う」厳しい予算編成でした。編成にあたっては、「戦略的施策」として①新幹線開業を見据えた都市基盤整備 ②高岡の拠点性を高める観光・交流・にぎわい創出 ③高岡の宝である「歴史と文化」④ものづくり ⑤安全・安心の5項目を柱としています。

現在、平成24年度から始まる総合計画第2次基本計画の策定作業を進めています。平成23年度予算は、新しい基本計画につながる予算であり、将来にわたって大きなテーマとなるまちなかの課題や地域公共交通のあり方、高岡型の福祉システム、新たな市民文化創造等について、総合計画に先行して取り組んで検討を進めてまいります。

新幹線開業をはさみ、高岡の将来を左右する大切な時期の計画となる第2次基本計画は、今年の5月頃に確定し、その後、実施計画の作業を進め、11月頃には、新しい総合計画を皆様からのご意見を頂きながら、策定してまいりたいと思っておりますので、引き続きのご指導ご鞭撻をよろしくお願ひいたします。



11/30 能越自動車道建設促進期成同盟会
提言活動



12/18 「高病原性鳥インフルエンザ
対策本部会議」

まさる
おし
北野 大先生講演「北野家の訓え」

(平成22年11月28日に高岡エクールに於いて、高橋まさき後援会総会の記念講演をしていただいた時の要約です。おかげさまで会場に入りきれないほどご参集いただきました。)



高橋市長とは市長さんが新潟県の副知事の時代から家族ぐるみのお付き合いがあり、とても優秀なのに、気さくでいばらない人間性に惚れ込んでおり、今回の依頼を引き受けました。高岡市には過去3回お邪魔しております。これまでの高岡のイメージは正力松太郎さんぐらいでしたが、今回は坂下町の朝市、瑞龍寺という素晴らしいお寺、金屋町、木津大根と歴史を感じさせる高岡を案内してもらいました。おいしい大根をいただき、消費量日本一の昆布をいただき、その黒とろろ昆布のおいしさに触れ、連れて行つていただいた昆布店の昆布を買い占めてきました。少々オーバーですが。また藤子F不二雄、高峰譲吉先生など多彩な人たちを輩出しています。おかげで私の高岡のイメージは大きく膨らみました。



ところで、私はお袋の言うとおりに生きてきました。一方、弟のたけしは母親に反抗し、それをばねにして生きてきたといえます。どちらにしても中心は母親でした。母は腕に職をとの考え方から、息子3人をすべて大学の工学部に行かせました。親父は誰も後を継がず、さびしい思いをしていたかもしれません。実は私は英語が好きで、ある国立大学の文学部を受験し合格したのに、お袋にとって、文学部イコール国文学で、どうしても工学部でなければならないと首を縊に振ってくれませんでした。母は尋常小学校をでてすぐに大きなお屋敷に奉公に出された。そこにいるお姉さんたちはきれいな部屋で楽しそうに仕事をしていて高い給金をいただいている。自分は嫌なことばかりさせられて給金は安い。何故か? どうか、自分は料理も裁縫もできないからだ。だから技術が必要ですばらしい。一方安定した給料やボーナス、退職金のある勤め人になるには学校を出なくてはならない。技術と勤め人がドッキングするとすべて大学の工学部の機械科に結び付くというわけです。この大変な教育ママは、もう一つ大事なことがあると言っていました。それは人間性です。我が家の訓えとしてまず5つあげます。

- 1 「実るほどこうべを垂れる稲穂かな」 (社会的地位が上がるほど謙虚になりなさい。)
- 2 「自慢高慢馬鹿がする」 (犬でも秋田犬やシェパードは吠えられても知らん顔です。)
- 3 「一杯の酒に城が傾く」 (賄賂などで地位や財産を失い身を持ち崩す。)
- 4 「物をもらって怒る人はいない」 (お袋は3時のおやつをお姉さんたちに分けて裁縫などを教わったそうです。お袋は物を通じて良い人間関係を構築しているわけです。) どんな職業でも職業上の倫理があります。以下のことは誰でも絶対にやってはいけませんが、特に医者の殺人、弁護士の詐欺、警官の泥棒は絶対にやってはいけないことです。大学の教員では試験問題を教えたりすることです。
- 5 現実的でいやな言葉ですけど「人は、物がほしいときには物をくれない」 (盆暮れに物を贈るということは感謝の気持ちもあるけれど、もし何かあったらよろしくという若干の見返りも求めています。まったく見返りがない場合、人はそんなことはしない。)

次に下町のキーワードを3つ上げます。

- 1 「お節介」 (母の助言で近所の螺鈿漆器の職人さんの4人の息子を全員工業高校の機械科を卒業させ、畠屋の息子、大工の息子も機械科を卒業させました。すべてお袋のお節介です。買い物も若干高くても近所の店から買っていました。近隣の人たちと絶えず良い関係を作っていたのです。)
- 2 「痩せ我慢」 (話は国レベルになりますが、私は、食料自給率は60%ぐらいを維持するのがいいと思っています。フランスの大統領だった故ドゴールは「独立国とは自国民に食料を供給できる国」と定義づけています。そのためには若干高くても国産の農産物を買うことは必要だと思います。20世紀は「安全」を追求しました。21世紀は「安全と安心」を求める社会です。)
- 3 「もったいない」 (そのものの価値を十分に活用しなさいということです。ケニアのノーベル平和賞受賞者ワンガリマータイさんは「もったいない」という日本語が日本を代表する言葉として称賛しています。)



以上が我が家の訓えです。ご清聴ありがとうございました。

活動報告

6/12 スポレクウォークラリー

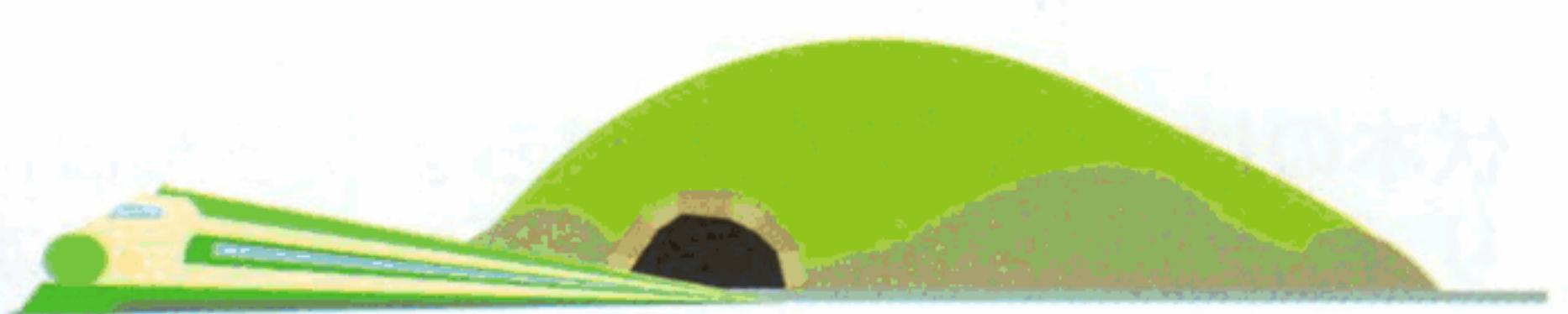
高岡市民体育館を発着点に行なわれ、約1,200人の参加がありました。



9/18 宮原選手



ユース五輪女子レスリングで優勝した高岡市出身の宮原 優選手が市役所を訪れたときの写真です。将来のオリンピック有力候補として期待しています。



8/4 北陸新幹線新高岡駅利用
都市サミット



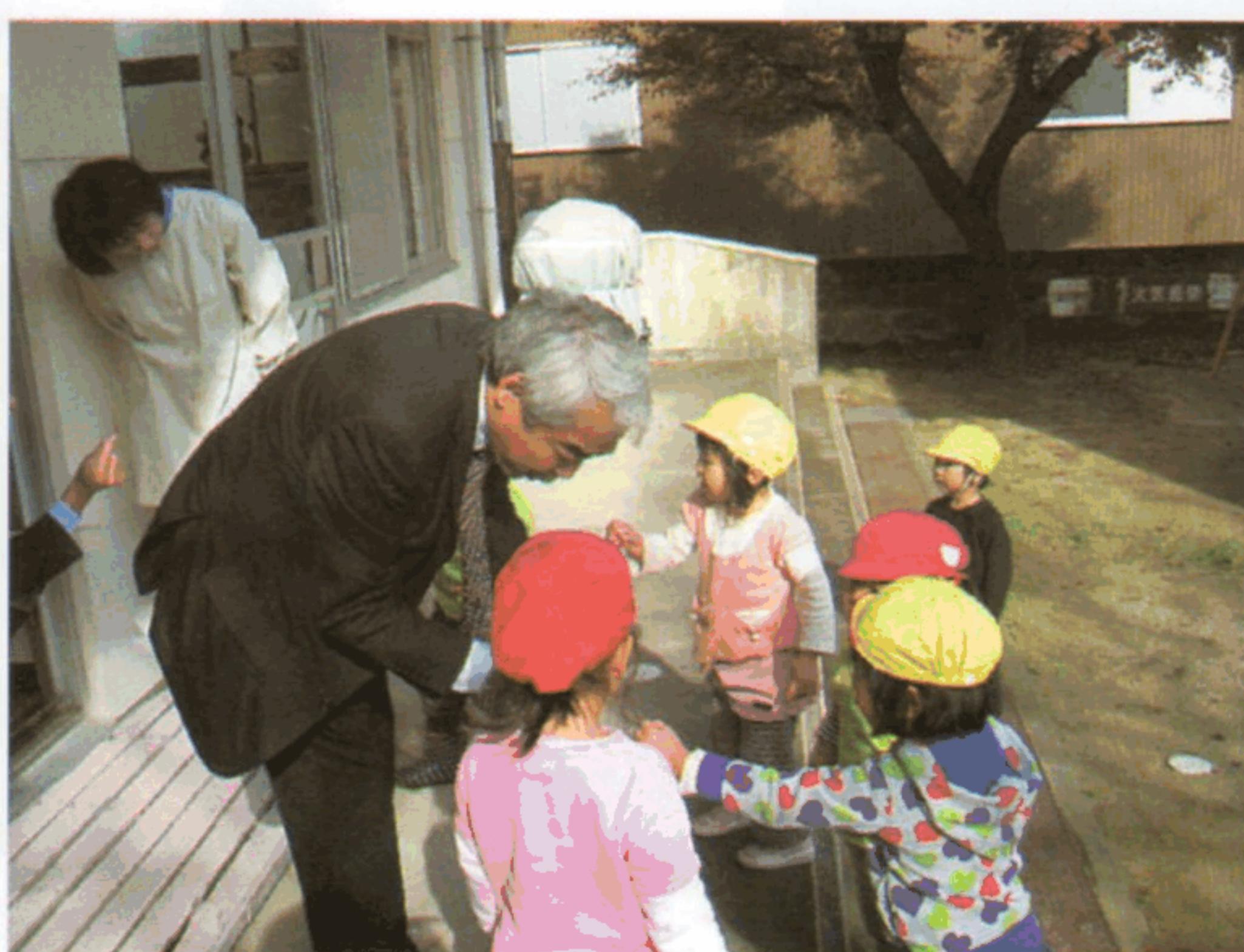
中田、はんにゃ、戸出保育園 保育園訪問



高岡が誇る
10/1 万葉まつり

8/29 平城遷都1300年祭のイベントで「万葉朗唱の会」のPRをしてきました。

8/1 古城公園清掃



未来の高岡を背負って立つ、宝です。歓迎の合唱を披露してもらい、心が和みました。

早朝から大勢の市民の方々に参加していただき、古城公園一体が見違えるようになりました。